



山本 光晴

## 観光行政について

大阪環状自然歩道にトイレや案内板の設置は。山辺の砂防ダムの子どもの遊び場としての整備は。

**問** 町外から能勢へ散策に訪れる人が増えているが、環状自然歩道にトイレがないのが現状である。府と連携してトイレの新設を要望したいがどうか。また町の花であるササユリ保存の啓発のための案内板の設置をするべきかと思うが。

**答** トイレについては、地元地区との調整が必要であり、地元の協力があれば検討に値する。民間の施設にあるトイレの使用への協力のためのトイレットパーパーなどの現物支給については検討させていただく。府としてはトイレの新設は考えていない。案内板については、種類を限定した看板は無理であるが、啓発的

な看板は設置可能である。山辺の砂防ダムについては、河川の砂防ダム区域の規制と財政上の面、地元の意向調査も必要である。

**答** 観光情報誌「おおさかのてっぺん」を一万部発行し、町内外の200ヶ所での販売を考えている。観光協会の会員の協力を得て店で売っていたところである。



観光情報誌の発刊とレンタサイクルについて

**問** 観光情報誌が発刊され、今年度よりレンタサイクルの事業が計画されているが具体について伺う。

観光情報誌が発刊され、今年度よりレンタサイクルの事業が計画されているが具体について伺う。



レンタサイクルについては、普通自転車8台・電動自転車4台を物産センターとケヤキ資料館の2カ所で行う予定である。料金は電動が500円、普通が300円を予定している。

## 一般質問



木戸 俊治

## 小中学校の再編整備について

**問** 大阪府民牧場に小中学校を建設する学校基本構想策定業務の進捗状況について伺う。

**答** 構想図作成の発注も終え、3月末には基本構想図を完成すべく、作業を進めている。

**問** 子どもを地域で育てるといふことであれば、学校は歩いて通える範囲であり、地域に学校を残しておくべきか考えるが、町づくりの観点からどうか。

**答** 学校は地域の拠点であり、核である。また学校の目的は、子ども達の教育の場であり、新しい学校を、能勢町の拠点として、町民一丸となり、人づくり、町づくりを進めていかなければならない時代と考えている。

**問** 学校を再編した場合、多くはスクールバスによる通学となるが、登下校の時間的な制約、町の財

政上の負担について伺う。

**答** 遠距離通学の児童生徒はスクールバスの通学となるが、出来るだけ利便性の確保を図りたい。通学のみ手法とするか、福祉的な要素も含めた手法にするかは、学校建設計画と平行して通学の足も考えていきたい。手法により違いがあるが、相当の費用が必要と

思っている。

**問** 学校の耐震化の現状と課題について伺う。

**答** 学校の耐震化の現状と課題について伺う。

国庫補助金等が適用された場合の町負担及び校舎の一部を撤去する減築工法の検討について伺う。

**答** 改築及び補強として現状の建築規模で試算すると、約51億8千万円の費用が必要である。

全ての事業費が交付対象となった場合、国の交付金26億1千万円、地方債22億9千万円、一般財源2億8千万円との試算

をしていく。また減築手法での校舎の耐震化は検討していない。

**問** 教育委員会が基本方針を出した後、パブリックコメントの募集等進め方が急であり、住民の不信感もついている。時間をかけて、住民に理解を求めることが大事と考

えるが、今後の住民説明の進め方をお聞きしたい。

**答** 同一敷地内に小・中一校ずつという方針だけでは内容不足であり、今後大阪府の方と話を進めていく中で、おおむね土地の取得が可能であるという条件をもって地元等への説明をさせていただきたいと考えている。

国庫補助金等が適用された場合の町負担及び校舎の一部を撤去する減築工法の検討について伺う。

**答** 改築及び補強として現状の建築規模で試算すると、約51億8千万円の費用が必要である。

全ての事業費が交付対象となった場合、国の交付金26億1千万円、地方債22億9千万円、一般財源2億8千万円との試算